
IS **インフィニット・ストラトス** ~**姿無き紫電**~

御手洗うどん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS インフィニット・ストラトス ～姿無き紫電～

【Nコード】

N0089S

【作者名】

御手洗うどん

【あらすじ】

平凡な毎日を暮らし、趣味に没頭していた少年はある日。一通の電話によって平凡を崩される・・・奪われた平凡の代わりに与えられたのは『究極の剣』・・・少年はその力をどう使い、何を護るのか

始まりの通知

「ふう・・・寒い」

中学校生活最後の年、2月・・・未だ冬の肌寒さに体を震わせながら
呟く

俺こと『郁月 衛助』は高校受験の真っ只中である

昨年発生したカンニング事件が原因で、各学校が入試会場を2日前
に通知するという政府のお達はなんと無茶苦茶であり、所詮た
だの中学男子である俺にどうこうする力などない

せいぜい愚痴を吐きながら試験会場に向かうのが関の山という訳だ

私立帝楽学園

それが俺が受験しようとしている高校の名前だ

世界的に有名な音楽専門学校で、某天才ミュージシャンを数多く生
み出してきた有名高校。偏差値が半端じゃないほど高かったが、元
々音楽が趣味だった俺は何としても受かろうと一昨年から猛勉強を
続けてきた

そして今日がその受験

バスと電車を使い、長い道のりを経て学園近くの駅まで来ていた

偽りの、夢だつて叶えて見せる

懐の携帯電話から、俺お気に入りの曲が流れる

携帯電話を取り出し、通話相手の欄を見ると『非通知』と表示され
ていた

(? 誰だコレ)

俺は謎の電話に疑問を浮かべながら通話ボタンを押す

「はい、もしm『はろはろ』 超天才少女TABANEちゃんだ
よ』 『存じません』

ピッ

コンマ1秒で電話を切る

パタンと携帯電話を折り畳み、無かったことにしようかと再び懐へ仕舞おうとすると、再び着信音が鳴る

開く

『非通知』

俺、げんなりしながら通話ボタンを押す

普通、知らない人間から変質な電話は避けるべきなのだが・・・恥
ずかしながら通話相手は俺が良く知る人物なのがイヤになる

「もしもし・・・」

俺は嫌々ながら電話に出る

『も〜！ いきなり切るなんて酷い〜』

通話相手である女性の声に、俺のテンションは地中海よりも深く下
がった

「どうも、東さん」

通話相手。『篠ノ之 東』

かの有名な科学者にして、世界の常

識を覆した張本人である

「で、久し振りに電話してきたのはいいんですけど・・・何か用ですか？」

『ぶ〜、えい君なんか冷た〜い』

誰のせいでテンションがた落ちしてると思ってるんだろっねこの人は

『まあいいや〜、ねええい君』

「なんですか？」

『空を飛びたいとは思わない？』

は？

全ての始まりはこの一言から

その数分後、俺は高校側から受験権利を剥奪されたという通知が送られてきた

主人公設定

郁月 衛助 いくつき えいすけ

声 - 浪川大輔

本作の主人公。高校受験の当日に、篠ノ之 東の電話と共に高校側から受験権利を剥奪された（東がそうさせた）哀れな少年。東の強制で特別試作先行型IS『インビジブル・バイオレット』のテストパイロットに仕立て上げられ、不幸にもIS学園に強制入学させられてしまう。所属クラスは1年1組

同じように学園へ強制入学させられた『織斑 一夏』とは幼馴染みであり親友

性格は至って穏便で、後先を何重にも考えて行動するタイプ。物事の飲み込みが早く、独自解決し行動するなどの判断能力も高い。ただ過剰な現実主義者であり皮肉屋でもある。怒ると無言で相手にアイアンクローを放つ

趣味は軽音楽で得意な楽器はギター。中学時代でも友人たちとバンドをしており、担当はギターとボーカル。愛用のギターは『Fender Japan Standard Stratocaster』
両親共に外国で働いているため一人暮らしを6年間続けており、料理や家事もお手の物。得意料理はカルボナーラとロールキャベツ
進学しようとした学園の偏差値が高かったため、成績は優秀

外見的特徴は殆どなく、強いて言うなら平均より整った顔立ちとつり上がった鋭い目付き（そのため伊達眼鏡で普段は隠している）
あまり目立つことを拒み、いつもは大人しくしているが、捨てられている猫を拾い家で介護、育てるなど優しい一面を持つ。その場面を幼馴染みである『凰 鈴音』に目撃され、よくその話題でイジられる（現在家には6匹の猫があり、全て捨て猫）

モノの命を軽率する人間を大いに嫌う

織斑 千冬以上のアイアンクロウの持ち主

キャラクターイメージは『緋弾のアリア』に登場する『遠山 キンジ』に黒フレームの伊達眼鏡を掛けた感じ

主人公設定（後書き）

ー夏がバナージならオリ主はリディだ！

与えられた剣

現在、わたくしこと郁月 衛助はとても気分が悪い

数日前、幼馴染みの姉から突然『空を飛びたいとは思わない?』と聴かれ、まったく意味の解らなかつた俺はその後、受験する高校側から受験権利を剥奪されるという意味不明な状況に置かれている

そして時は進み現在・・・

「おっひさ〜　　さあ愛の育みを（ガシ！）あたたたた、痛いよえい君〜」

目の前の汚物（束）へアイアンクローを放っているのだつた

「アンタは・・・（ミシミシ）・・・人を不幸にするのが（ミシミシミシ）・・・そんなにタノシイカ・・・?」
問答無用の全力全開でアイアンクローを放ち、束さん（馬鹿）の頭骨からヤバい音が響く

「あ〜ん、痛いよえい君〜。お顔が変形しちゃうよ〜」

「良かったジャナイカ・・・新しい自分へトランスフォームと洒落込モウ」

と、言いながらも流石にそろそろヤバいので手を離す

「あう、相変わらず容赦ない・・・」

「余談はどうでもいい、まず何のために俺をここへ連れてきた？」
腕組みをしながら束さんへ問い掛ける

俺達が現在立っているのは薄暗い研究室の中。無数のコンセントやケーブルが張り巡らされ、何台もの高性能PCが置かれたカビ臭い一室。広さは学校の教室くらい

ちなみに、俺は自らここへ来たわけではなく。俺の隣にいる阿呆（束さん）が遠隔操作したロボットに拉致られたという訳だ

想像できるか？ orz 状況の時にいきなり某サイボーグ映画のロボットみたいなのに捕まって大空を移動したんだぜ？ あまりの速度にブラックアウトしちまったよ

んで、気が付いたら寝てて、その俺に飛びかかってきた束さんをアイアンクロー。現在に至る

「ふふ〜ん 実は、束さんからえい君へ贈り物があるのだよ〜」
クルクルと踊るように周り、一台のPCへ近づきキーボードを叩く

「贈り物？」
とうせしようもない物だろう

俺がそう思っていると部屋の中央がライトアップされ、ゆっくりと鉄製の床が開き、シートに包まれた『何か』現れた

「さあ！ ご覧にいきますは天才科学者束さんが、えい君のためだけに作った特別試作先行型IS。その名も〜」

束さんがシートを掴み、一気にひっぺかずと……そこには『紫』
があった

「『インビジブル・バイオレット』……君の専用ISだよ」

その瞬間。俺の心臓が微かに早鐘を打つ
俺はその幻想的な紫に見惚れた

IS設定

インビジブル・バイオレット（姿無き紫）

篠ノ之 東が主人公のためだけに作った特別試作先行型IS。『脳の中でイメージした動きをISが読み取り、それを実行する』というコンセプトから生まれた第5世代型IS

従来のISとは大きく異なる設計プランから、その外見は鎧を纏う武士のような姿をしており肌の露出度が極端に低い。これは展開された装甲に神経を接続させる機能を生かす為である

全体的にシャープな流線型の全身装甲が特徴。機体色は紫

脚部は平均よりも小型な代わりに、踵部分にローラーを搭載しており地上での高速移動を可能とされている

背中と左右の腰には大型ブースターユニットが搭載され、そのスラストー性能からマツハ10という別次元な速度を叩き出す

機体性能は今までのISを遙かに凌駕している。その代わりに搭乗者への負担が半端ではない

さらに、この機体には4本の隠し腕が搭載されており搭乗者の思考回路を独自に読み取りもつとも適切な処置で動く。普段は背中の中へブースターユニットの裏に折り畳まれた状態で収納されており、微妙に変形させ掌にある波動砲発生装置を予備スラストーとしての機能を果たしている

ワンオフ・アビリティである『バーンアウト・フィールド』は超高濃度電磁フィールドを発生させ、黙視での確認、ありとあらゆるセンサー類での感知を完全にシャットアウトするステルス能力であり、本機の名前の由来である『インビジブル（姿無き・見えざる者）』の名に相応しい能力である。最長継続時間は24分

機体イメージは『マブラヴ アンリミテッド・オルタネイティヴ』

の『日本帝国斯衛軍 00式戦術歩行戦闘機 武御雷Type-00R』の脚部をやや大きくさせ、背中の74式可動兵装担架システムの代わりに腰と同型のブースターユニットを2機装着させた感じ

搭載兵器

近接戦闘長刀『レーヴァテイン』

近接によるメインウエポン。全長2mはあろう大剣であり、刀身にエネルギーを流すことにより超振動を発生させ凄まじい切断能力をもつ

イメージは『マブラヴ』の『要塞級殺し（フォートスレイヤー）』

3連装変形型狙撃ライフル『ジャヴェリン』

射撃によるメインウエポン。銃身を折り畳むことで中距離用ライフルとして運用可能な狙撃ライフル。ビームと実弾どちらも使用できる構造をしている

イメージは『ガンダムOO 2nd』の『GNスナイパーライフル？』にスコープを付けた形

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0089s/>

IS インフィニット・ストラトス ~姿無き紫電~

2011年10月8日22時15分発行